

国土交通省新技術情報提供システム NETIS TH-190004-A 登録工法

C-Box 内側目地部へのパッチシールクロス®による防水施工要領

パッチシールクロスが、NEXCO 基準押し抜き試験で[樋工法適合]となりましたので、導水パイプ[クラドリップ]との組み合わせで C-Box 目地の漏水対策の工法が可能となりました。既設の塩ビ(+金属)製の樋からの切り替えも可能です。

土盛り高架部の現場打ち C-Box の目地のエラストイト脱落や、漏水・ツララ対策に有効



従来の塩ビ(+金属)製の樋が破損の状態



パッチシールクロスによる防水施工の完成状態



NETIS TH-190004-A 登録工法の数多くのメリット

- ✓ 金属アンカーを使わないため、コンクリートの躯体を傷めません。
- ✓ 厚み(天面からの凸)が約 2 mm と薄くでき C-Box 内部への突出が少なくできます。
- ✓ 白色透明ですので、内部の土砂や滞水の状況・被着体のコンクリートの表面状態が目視確認できます。
- ✓ 施工が簡単で短時間で作業が終了する上、重ね貼りによる部分補修も容易です。

■構造:



パッチシールクロスの表面から、内部のクラドリップと空間の土砂の堆積・滞水の状態が確認できます。

■使用材料: パッチシールクロス・シンエツパッチテープ・クラドリップおよびジョイント接続パイプ(アラムジョイナーなど)



■施工要領:

1. 既設樋の撤去

既設樋を撤去したところにはエラストイトやアンカー穴が存在します。



2. 既設樋を撤去後、残存するアンカーの撤去・カップグラインダーで汚れ・脆弱層の除去を行います。



3. 車両接触による大きな欠損部分がある場合は、〔プライマー-MT〕を塗布・風乾後〔シリコンシーラントマスター300G〕で肉盛りして形を整え、シリコンゴムによる柔軟な形状復元を行います。



4. 目地内部に残存する「エラストイト」の突起が大きく、そのままでは〔クラドリップ〕の設置(後記)が出来ない箇所では、余分なエラストイトを取り除く必要がありますので、工具で切除します。



5. 施工前の確認

目地の両側の被着面は十分に乾燥させます。試験的に施工箇所2か所にサンプル片を貼ってよく押さえ、パッチシールクロス
の端部に粘着層の『はみ出し』を確認した上で、端部をごく一部つまみ上げ、2か所とも粘着層が被着体との間で『糸を引く』
ような状態であることを確認します。

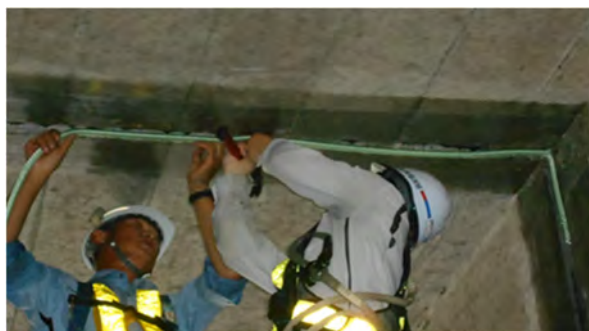


ポイント:

被着体との間にシリコン粘着層が『糸を引く』ことが確認できれば OK!

6. クラドリップの取り付け

ステンレス釘を用いてクラドリップをエラストイトに固定します。この場合、天面から出ていないことを確認します。



エラストイトの場所が奥まっているなど、ステンレス釘で固定できない場合は、パッチシールクロスを適度な大きさにカットしクラドリップの仮固定に使用します。



7. パッチシールクロス貼り付け

パッチシールクロスのセパレータ端部を 100 mm程度剥がして位置を決めてから押し付け、固定します。セパレータフィルム全体を静かに引っ張って剥がし、粘着力を早期に発揮させるためローラーかゴムハンマーで圧力をかけます。



パッチシールクロスに『たるみ』が生じないように注意します。

8. シンエツパッチテープでの重ね合わせ部・端部シール

- ①パッチシールクロス同士の重ね合わせ部と、パッチシールの端部をシンエツパッチテープでシールします。
- ②シンエツパッチテープのピンク色のセパレータ面をまんべんなく押し付け、180度方向にセパレータをゆっくり剥がします。
- ③シンエツパッチテープに浮きが発生した場合は、セパレータフィルムを介して再度よく押し付けます。



特に漏水が懸念される箇所は入念に行います。

★シンエツパッチテープの施工方法は、カタログもご参照ください。



■完成

パッチシールクロスを通して、内部のクラドリップと 空間の土砂の堆積・滞水の状態が確認できます。



■全体の状態

C-Box 内部への突出が少なく、目地内部の状態の確認が可能となります。



■ご参考 『穴』からのツララ対策（福島県内での施工実績）

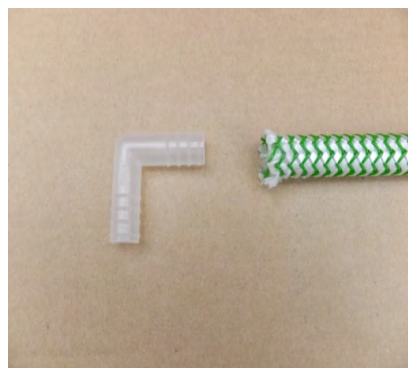
1. 穴周りをケレン・清掃後、クラドリップを上向きに挿入しL字ジョイントで水平部につなげ、さらに壁面まで配置します。
2. 穴周りはシリコンシーラントで充填封止します。
3. その上からパッチシールクロスを上記と同様に敷設し、重ね合わせ部と端部をシンエツパッチテープでシールします。



クラドリップの使用目的

パッチシールクロスのみでも排水は可能ですが、排水スペースが長期間で地下水と土砂で埋まる可能性があります。クラドリップは、強度と形状維持を特徴とする導水パイプですので、土砂から水分を分離して排水が可能となります。

コーナー部分はL字のジョイント(アラムジョイナー等)で直角に接合します。



注)クラドリップ・アラムジョイナーは信越化学の製品ではございません。